

# 泉の自治だより

題字は元県会議長今井國男先生

No. 10

発行所 泉自治区連合会  
発行責任者 連 区 長  
事務局 (泉公民館内)  
土岐市泉町中窯町  
TEL 55-3653

心にきざまれるひとこと

夢をもちつづければ  
必ず実現する時が来る

ゲーテ (ドイツの文豪)

## 祝「ふるさと泉」出版

郷土史愛好家三十八名の  
一年有余の研究の結果、泉  
村誕生百年記念として、い  
よいよ「ふるさと泉」が十  
月中旬出版されることにな  
りました。

この本は郷土を知り、未  
来を展望して泉町の文化性  
を高めるためには、泉町と  
してはまだまだかつてない画  
期的な本です。

このような本は他町には  
なく、今後ますますは出版  
されないでしょう。

全家庭は子孫のためにも  
一家一冊の必置書とせられ  
るよう希望し推せん致しま  
す。

各町から各区の歩みが区  
長名まで調べてくぐめいに  
書かれています。

昭和四十二年の泉町慰靈  
塔合祀者調書をもとにして  
詳細にかかれています。

泉町戦没者遺族会長  
須田 信之



伊野川町明治街道道標

一、題字及び扉の字は、現  
在も元気でいられる岡田仁  
一、山村龍雄両元町長さん  
(現在旧土岐郡町村長で生  
存しておられるのはお二人  
のみ)よりいただき、本の  
価値がたかめられました。

二、人物史には次の人々が  
あげられています。

和田亀右衛門 平子春蔵  
水谷弓夫 中村文太郎  
村井筆之助 森島庫太  
沢田菊次郎 熊谷常次郎  
亀谷臥石 鈴木喜一  
小栗富三郎 田中静夫  
山村龍雄 加藤作十郎  
岡田仁一 清水良治  
今井国男 森 泉  
佐橋 滋

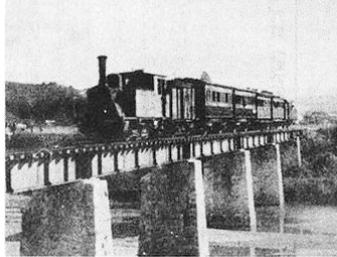
その他、輝く叙位叙勲  
褒章受章者もあげられてい  
る。

三、各区の歩みその他の中  
の一部分は次のようです。

昭和年度	区 長 名	区 の 主 な で き 事	社 会 の 動 き
二二一	沢田三三	・農作物の防犯復讐・農地委員選挙 ・東海震災見舞金割当・戦死者掃還七人	・新憲法発布
二二二	永井惣吉	・戦死者掃還一人	・砂防工事頻繁
二二三	有賀正男	・戦死者掃還三人	・明世中学校建設
二二四	水野政夫	・戦道第二溜池起工	・明世中学校建設
二二五	鈴木郁夫	・戦道第二溜池建設	・長良川堤防決壊
二二六	山内保儀	・東洞林道新設・戦道道路拡幅	・明世消防団金馬籠受賞
二二七	沢田景三	・消防自動車ポンプ多治見より返還	・町内会制度できる
二二八	加藤 広	・河合駅設置運動	・泉農協全戸加入
二二九	林規矩一	・溜池及び林道完成祝賀演芸会 ・八幡社屋根草替・安藤良郎宅掃帚合焼 ・河合に合併・忠魂碑建設 ・児童泉小中学校に編入	・土岐津電話局新設促進

### 〇定林寺区の歩み 十七頁

昭和三〇	水野政三	渡辺史郎	稲荷神社北に市住宅建設さる。	土岐市誕生 土岐川氾濫市長二宮安徳就任
昭和三一	井沢保一	伊藤大	高橋鶴吉 昭和三二年災害 崖山池修理	土岐川氾濫
昭和三二	沢田和夫	伊藤大	理水種性修理 次月分離御高に編入	市長二宮安徳就任
昭和三三	清水良治	水野章一	定林寺観音堂開扉	原子力東海村誕生 国連加盟
昭和三四	丹羽重夫	田中大二	伊勢湾台風直撃被害甚大	南極に昭和基地が出る
昭和三五	加藤 英	水野扶一	稲荷社境内大改良、現在の広場を造る 炭焼住宅建設	皇太子御婚儀
昭和三六	清水寿一	山口久見	定林寺区有山茸山入札制度	土岐川清掃始まる
昭和三七	高橋鶴吉	稲荷神社事務所増築	水野保平 園戸地区田畑定林寺湖として工事着工する	窯業立法出来る
昭和三八	酒井 謙	定林寺にワラン鑑発見	成瀬康則 土本福松 三役制度導入	土岐市民の歌出来る
昭和三九	田中大二	西洞赤道延中六米道とする用地買収	水野 勤 高橋重美	国道十九号バイパス開通
昭和四〇	伊藤大	定林寺幹道原線 初のアスファルト	渡辺幹夫 水野重雄	国道二十一号開通
昭和四一	渡辺史郎	定林寺湖完成 ボート購入		



土岐川鉄橋を渡る駄知鉄道



久尻長養寺山門前三十三所供養塔



大富中窯町庚申堂

**主婦の店** いい人・いい街・いい暮らし

**営業時間のご案内**

土岐本店	☎54-1234 AM 9:30~PM 8:00
駅前店	☎54-1814 AM 10:00~PM 7:00
定林寺店	☎54-5795 AM 10:00~PM 7:00
サンマート	☎55-1234 AM 10:00~PM 9:00
サンモール	☎55-1117 AM 10:00~PM 11:00
トーエー	☎59-8203 AM 10:00~PM 7:00
ファミリーレストラン	☎55-5335 AM 11:00~PM 10:00
ポパイ	☎23-7474 AM 9:00~PM 12:00
CAFE ジョアンナ	☎55-1118 AM 11:00~PM 10:00
季節料理・しゃぶしゃぶ	☎55-1118 AM 11:00~PM 10:00
電 庵	

**三起屋ファミリーカード会員募集中!!**

①5%のご優待割引 (食品は除外)  
但し、食品についてもカードの使用はできます。

②特別御優待セールへご案内

③恵那峡ランド・かわいボーリングセンター・多治見大映映入場券特別割引

**特典**

くわしくは  
1F・3F  
サービス  
コーナーへ

**三起屋百貨店**

土岐市泉町久尻42-11  
TEL 0572-55-5011

○大富区の歩み 十六頁

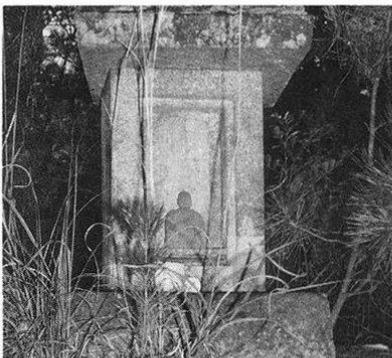
二 大正時代の歩み

年度	区 長	大富の出来事	社会の動き
大正二年	山内 丈太郎	村長 沢田 醇一 白山神社祭殿修築改築 小学校校舎改築 村議 木村重三郎 水野健二 加藤吉九郎 水野 小一	陶器学校(高山・多治見へ移転) 土岐津駅陸橋完成 国内にコレラ流行
三年	水野 節夫 水野孝三 東上 田中 定九郎	養蚕農家(兼業)増加・区会議員 選挙 戦没者 慰霊祭(延命寺) 貿易不振 不況 泉町制施行 町長 高橋 正夫	第一次 世界大戦 伝染病流行(赤痢、腸チフス) 土岐津駅前道路 完成
四年	田中義孝 東原 井口 吉三郎	土岐川洪水・桑の木害虫発生・駆除三回 稲作 虫害・大富区有林 規約改正 加納辨介和尚延命寺住職就任	機械ろうろく(電気化) 貿易 好調
五年	井口昭典 大和	泉町五区制(定林寺・大富・久尻・欠梁・高田) 辨介和尚 晋山式 大富町議 田中留九郎 中島乙次郎	大富区内電気路線 測量 駄知軽便鉄道敷設願 申請 陸軍大臣就任 大島 健一(岩村)
六年	中島 乙次郎 中島一夫 東上	泉組庚申堂屋根替之工事 区有林 規約改正・美佐野街道 大修理 日神子神社 鳥居 燈籠建設	伊野川の水 駅前地区供給契約 大富・久尻

○久尻村 十頁

水を求めた久尻の農民(久尻用水)

(8) 久尻村には大きな川といえは土岐川で、この川は村の一番低い所を流れ、農業に利用することは不可能であった。溜池は九つ(天王・大明神下・三本坂・貝ヶ洞・勝負洞・右洞など)あったが、田植え時や、日照りの時には、水が不足してとても苦労していた。久尻村の人達は、どこかに使える水はないものかとさがしまわつたところ、久尻村から北西の山を一つ越えた五斗蒔には深沢川が流れているので、なんとかしてこの水を村へ引くことはできないかと思案した。村の庄屋を中心として、村役人や、百姓の代表が集まり、よい方法はないものかと相談が始まった。ところが、山むこうの川の高さや、水路のレベルを計ったり、作業をすることは、とてもむづかしいことであった。村の工頭領土本善七の知恵を借りたり、代官所の役人の指導を受けて案を練り、笠松代官所へ村人の願いをこめて、用水路の請願を行った。何度かかけ合ったすえ、代官所もその熱意を認めてか、「自分達で総ての責任をもって工事を行う自普請」という条件で許可がされた。文政六年(一八二三)水の取入口の五斗蒔の山上に、工事と村人の安全を願って、井水の神様「石のほくら」を建て、工事が始まった。農作業の暇な春先(春役)、晩秋・冬などに百姓たちの手によって行なわれた。深沢川の東側の山腹に水路をつくる工事(久尻用水絵図・郷町の山村稔氏所有を参照)は、かなりの難工事で、石垣を築かなければならない所が二十三箇所、岩石を打ち割らなくてはならない所が四箇所もあったという。文政九年二月(一八二六)約三年かけて、五斗蒔から天王池(文化会館の西)までの約五千四百メートルの水路が完成した。



井神様をまつた石のほくら

「当用水路自普請出来形帳」という工事完成報告書によると、工事に当たった人足は、延べ一万六千七百六十四人半、手当米は百二十五石四斗八升六合二勺(一人一日につき七合五勺)となっている。村人の生活をおとした用水路は久尻の宝として代々大切に管理されてきた。

○交通通信 十頁

も足助街道案などがあつたが、最終的には下街道案に決着し、工事が開始された。明治二十九年、停車場の設置が豊岡・山内・釜戸・大井・中津川に予定されたが、その後山内を泉村に変更する案が出されると、ふたたび停車場の激しい誘致運動が展開された。高山村の有力者青木達四郎は憲政会や政友会に働きかけ、最初は土岐津町に鉄道を通して駅を設置する予定であつたが、地元の方針にあい泉村に設置することにしたといわれる。こうした誘致運動や、用地の買取と負担金問題などの解決に手間取り、多治見以東の敷設二期工事は二年後に持ち越されたが、明治三十五年十二月十九日には、無事中央線土岐津駅の開通式が行われた。泉が対岸の地名をとって「土岐津駅」としたのは、豊岡が「多治見駅」としたのと似ていておもしろい。名より実を取つたといふことであらう。開通当時の上り下りの列車本数は、一日四本ずつであつた。一日平均の乗降客は六十人程であつたが、明治三十六年には一日平均の乗降客も二百人余に増えた。昭和二十九年十月、中央線の八市一町が「中央線複線電化促進協議会」を結成して、複線電化運動を推進し、昭和三十三年二月から工事が着手されたが、昭和四十一年七月一日には名古屋市と瑞浪市の間が複線開通した。その翌年の一日平均乗降客は、四千七百八人となつた。昭和四十三年十月一日には、瑞浪市と中津川の間も複線化が完成し、昭和四十八年七月二十三日には、中央西線全線が複線電化された。中央西線全線の複線電化によって、名古屋への所要時間の短縮や運転本数の増強が行われ、土岐市駅の乗降客数は、さらに増加した。国有鉄道が民営化された昭和六十二年のJR土岐市駅の一日平均の乗降客数は、実に九千七百五十三人に増大している。

さて、初めて列車が走つた土岐津駅は、駅前に出店が並び人の波が続いたが、駅周辺は桑畑や田が広がり、駅前には二軒の家しかなかったといわれる。

○人物 三十九頁(戦没者十二頁)

小島正美	昭和二〇・四・一九	沖繩	二五	定林寺記念	小島具治
小嶋孝一	二〇・二・一八	満洲牡丹江謙家満洲五七病院	二三	河合岩野町	小島ツギ
小林 昇	一九・二・一〇	ルソン島	二二	久尻鎌ヶ丘	小林貞義
小村時男	二七・二・三〇	ガダルカナル島	二四	大富東上町	小村 栄
小村文夫	一八・一・九	呉市海軍工廠共済病院	二三	定林寺宮前	小村かな
小村行夫	一八・四・一三	春日井市	一九	定林寺記念	小村 清
後藤輝男	一八・五・二〇	マニラ群島マニラ島付近	二二	大富伊野川	後藤栄吉
後藤康之	二〇・八・二五	中国牡丹江省東安県二道河子付近	二二	新土岐津東	後藤栄子
後藤大三	二〇・二・一六	シベリヤ チタモロトイ	三一	定林寺宮前	小栗敏光
後藤 治	二〇・二・二一	敦河陸軍病院(満洲)	二二	新土岐津東	後藤國一郎
交吉幸三	一九・七・一八	マリアナ島	一九	河合岩野町	交吉勝三
交吉吾一	一九・八・五	ビルマ国シタン	二四	河合中野町	交吉さ
交吉 貞	二〇・一・二五	レイテン	二三	定林寺中川	交吉 守
佐賀歳秋	一九・二・二七	フィリピン方面	三一	定林寺土居	佐賀勘市
佐藤良雄	二〇・七・一七	レイテ島ヒリヤバ	三一	久尻西本町	佐藤八千代
酒井泰治	二七・九・三	満洲ハルビン市義好街二七九番地	三六	定林寺宮前	酒井宜夫
酒井 定	一七・九・五	中支	二二	定林寺本郷	酒井植三
酒井幸男	一八・九・三	南洋方面	二二	定林寺土居	酒井正治
酒井 泉	一九・三・三一	パラオ諸島マラカ島	三三	定林寺原町	酒井米治
酒井益一	一九・七・一八	サイパン島	三〇	定林寺原町	酒井育三



土岐津駅開通記念

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案!

**カネヤマハウジング**

〒509-51 土岐市 泉 森下町 2  
TEL (0572)54-3195代 FAX (0572)54-8451

よって長大! みて長大! かって長大!

**カネヤマ 長大**

営業時間 AM 9:30 ~ PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62  
TEL 55-1844